

6.3 プラントバージ

プラントPCバージは、海洋プレストレストコンクリート構造物のひとつとして考えられ、本四連絡橋工事等においては大型のコンクリートプラントバージ(写真-6.2)が建造された。

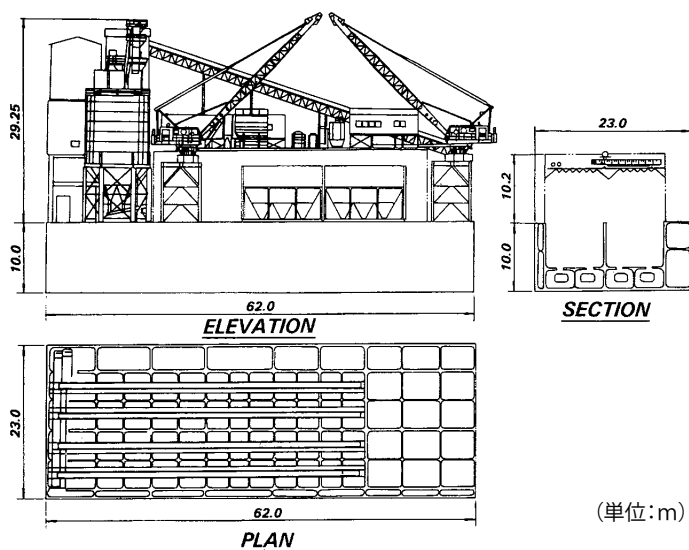
着底式のプラントバージは、プラント稼働時には捨石マウンド上に沈設、着底し、コンクリートの打設に従事し、工事終了後浮上させ、曳航移動される。吃水等の制限がある場合などはPC構造とするとともに、軽量骨材を使用した高強度軽量コンクリートを用い軽量化が計られる。

PCバージはドッグ内にて建造され、プラント設備の一部を搭載したのち進水され、曳航後、岸壁にて残りのプラント設備を搭載し、コンクリート打設場所に曳航設置される。

PCの緊張は、施工時のひび割れを防止するための一次緊張と、コンクリートの打ち上がりに合わせた最終緊張とに分け行われた。



写真-6.2 艀装中のコンクリートプラントバージ



(単位:m)

図-6.3 プラントバージ概略構造図